

副葬品から見た縄文社会

—財の生産・流通・副葬—

墓に葬られた人物が死に臨んで身に着けた
各種の考古遺物から、その製作・流通、装着の在り方から
装身の原理や縄文社会の構成へと迫る！



日時：2014年 2月 22日 土 当日受付

午前9時30分～午後5時15分

場所：明治大学リビティタワー 1083 教室

共催：明治大学日本先史文化研究所



副葬品から見た縄文社会

日程表

9:30

あいさつ（趣旨説明）…………… 栗島義明（埼玉県立史跡の博物館）

I 9:30 ~ 9:45

「東京湾岸に残された各種副葬品」…………… 渡辺 新（千葉県縄文研究会）

II 9:45 ~ 10:25

「東海地方の貝塚に残された副葬品」…………… 川添和暁（愛知県埋蔵文化財センター）

< 休憩 >

III 10:35 ~ 11:15

「定住化に伴う副葬品の顕在化（富山県小竹貝塚）」… 町田賢一（富山県文化振興財団）

IV 11:15 ~ 11:55

「副葬品をまとった女性（福岡県山鹿貝塚）」…………… 谷畑美保（明治大学日本先史文化研究所）

< 昼食・休憩 >

V 13:00 ~ 13:40

「中期社会のヒスイ大珠の分配」…………… 栗島義明

VI 13:40 ~ 14:20

「後期社会の貝輪生産と流通」…………… 阿部芳郎（明治大学）

VII 14:20 ~ 15:00

「人骨出土例からみた縄文時代の墓制と副葬品」… 山田康弘（国立歴史民俗博物館）

< 休憩 >

VIII 15:20 ~ 17:00

討論会
まとめ…………… 阿部芳郎

